

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 8 年度第 2 回所沢市高齢者福祉計画推進会議
開 催 日 時	令和 8 年 8 月 2 7 日（木）午後 3 時 3 0 分から午後 4 時 4 5 分
開 催 場 所	所沢市役所本庁舎 8 階大会議室
出席者の氏名	大島委員、今城委員、小野委員、川野委員、 米川委員、吉田委員、山田委員、神藤委員、 由井委員、山下委員、板倉委員、 辻委員、 藤澤委員、田中委員
欠席者の氏名	川口委員、岡田委員、齋藤委員、渡邊委員、栗屋委員
議 題	（１）第 1 0 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について （２）第 9 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（介護保険事業）の令和 7 年度実績について （３）地域密着型サービス事業者の指定等について （４）報告事項等
会 議 資 料	（１）会議次第 （２）資料 1 第 1 0 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について （３）資料 2 第 9 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（介護保険事業）の令和 7 年度実績について （４）資料 3 地域密着型サービス事業者の指定等について
担 当 部 課 名	福祉部 高年齢者支援課 瀧澤部長、大舘次長 介護保険課 溝井課長、日下部主幹、中村主査、齋藤主査、岩崎主査、井上主査 田中介護保険担当参事、肥沼主幹、松本主査、長浜主査、佐々木主査、上原主査 健康推進部 保健医療課 中山課長 国民健康保険課 野島主幹 健康づくり支援課 近藤主幹

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	開会 ・ 会議は全て公開することを確認 ・ 議事録の作成方法について、要約方式、委員名無記名とし、委員長の承認により確定することを確認 ・ 傍聴人 1 名 <u>議題（１）第１０期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について</u>
事務局	資料１に基づき、第１０期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について説明を行う。
委員	５ページ第６部７節の介護人材確保について、今年６月にケアマネが刺殺されてしまった事件もあり、訪問介護など一人で訪問することに非常に危険性があるため、県では複数人で利用者を訪ねる際の補助制度や警察に相談してくださいということも言っているが、なかなか警察に相談できない面もあるようだ。介護者の安全について第１０期計画で触れる予定はあるか。
事務局	委員長のおっしゃるとおり、痛ましい事件が起きてしまったわけだが、市としてはハラスメントに対する対応について各事業者において確立していただくようお願いしているところである。第１０期計画においても継続的に推進していく必要があると考えている。
委員	市においてハラスメントの対応をしっかりと実施していくということか。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	基本的には、県で相談窓口を設置していることから、市で同様のことを実施するのではなく、まずは既存の制度の周知及びさらに取り組むべきことがある場合には検討していく。 また、第9期計画の第3部第3章に、在宅医療・介護連携の推進について記載しているが、本章の中で、在宅医療・介護を受けるためには、医療・介護の関係者が連携するとともに、家族と医療・介護の関係者が相互理解を深めて、医療・介護に従事する方々の安全を確保するなど、地域の医療と介護を守っていく必要があると記載している。このことについては、第10期計画においても同様に推進していくものとする。
	<u>議題（2）第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（介護保険事業）の令和7年度実績について</u>
事務局	資料2に基づき、第9期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（介護保険事業）の令和7年度実績について説明を行う。
委員	1点目に、実績値が減っている中の一つに小規模多機能事業所がある。実績が減ったのはニーズがないのか、それとも事業所閉鎖による利用者の受け皿が減ったのか、その点について次回までに確認願いたい。前回か前々回の会議において同様のことを質問した際には、「小規模多機能事業所のニーズや（廃止・閉鎖により）困っているという相談は現状受けていない」と介護保険課より回答があったが本当にそうなのか。事業所の閉鎖に際して、他の小規模多機能事業所に移れた人もいれば、受け皿がないことから、施設入所あるいは通常のデイサービスとショートステイをわけて利用することになった人もいるという状況を懸念している。他のサービスにもいえるかもしれないが、事業所が減っているからニーズがないということではないので、何か確認できる方法があれば良いと思う。 2点目に、6ページに記載されている介護予防・日常生活支援総合事業において、介護予防の通所と訪問の実績値が合算になってしまっているが、できれば実績値を分けて記載していただきたい

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	い。介護給付については、訪問介護の実績値が計画値を上回っていることから、要支援の方の介護予防訪問介護と介護予防通所介護の計画値と実績値について、内訳が確認できると良いと思う。 3点目に、7ページの円グラフについて、実際は色分けされていると思うが、白黒になってしまうと非常に見にくくなってしまう。委員の人数もそんなに多くはないので、この部分だけでもカラーでいただけると見やすいかと思う。
委員	質問に対する回答については、次回までにということによろしいか。
事務局	承知した。
委員	介護医療院の執行率が低い理由は、過剰に病床があるというわけではなく、計画上の見込みがただ多かっただけか。
事務局	その通りである。
	<u>議題（3）地域密着型サービス事業者の指定等について</u>
事務局	資料3に基づき、地域密着型サービス事業者の指定等について説明を行う。
委員	収容人数や、利用者の要支援・要介護の割合などは分かるか。
事務局	詳細資料を手元に持っておらず回答できかねる。
	<u>議題（4）報告事項等</u> （報告事項等なし）

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	2040年問題において一番影響が大きいのは介護職の不足である。2040年には日本国内で約57万人増やす必要があるといわれており、介護ロボットやAIの活用、外国人材の活用などが提案されているが、介護職が不足すれば施設で利用者の受け入れが困難となり、自宅待機が増えるということが予測されている。国内の人口においては、2040年に65歳以上が34.8%、所沢市においては30%を超えると見込まれ、3人に1人が高齢者という事態が迫っている。さらに、1971年から1974年生まれの団塊ジュニア世代が一斉に65歳になり、現役世代も大幅に減少する。現在日本の人口は、現在1億2000万人を割っているが、出生率も往々に減っていくといわれており、例を出すと、1949年に約270万人が産まれたところ、2年前の2024年には70万人を下回り、200万人も減っている。医療費の予想増加量は約20兆円と予測されており、この対策についても追いつかない。もっと言うと、道路、橋、水道管、トンネルの大半が耐用年数を超えており、何か手を打たないと未曾有の崩落や事故が起きる可能性もある。それらを踏まえて今やるべきことは何か、少しでも将来に役立つような日本、もしくは、所沢市にしていなければならないと思う。今、先進国の高齢化のトップは日本であり、このような高齢化社会をどう乗り切るのか、失敗するのか成功するのか世界は日本を見ている。平均寿命について、日本はトップクラスで延びるといわれている。引き続き平均寿命を延ばしていってほしいと思う。 閉会